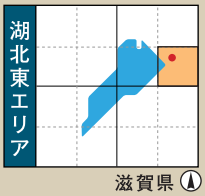
天然記念物

県指定

三島池のカモ及びその生息地

山東町池下　昭和34年2月10日指定



伊吹山を水面に映す三島池は、1200年ほど前に農業灌漑用水池として、造られたという伝承があります。三島神社の神池として生き物が守られてきたため、水鳥や魚たちの楽園となっています。長年にわたる、山東町立大東中学校の水鳥観察の結果、この池がマガモの自然繁殖地の南限であることがわかりました。

三島池について

三島池は、周囲約910m、面積約37,603㎡の楕円形の農業灌漑用水池で、北に女溜と呼ばれる小さな池がつながっています。また、東には、この池の開削と管理に深い関わりのある三島神社が鎮座します。

平常時の水深は約80㎝、増水時には120㎝ほどになり、下流域の水田を潤しています。水源は伊吹山に源を発する姉川の伏流水です。古くから三島神社の神池として殺生が禁じられていたため、鳥類、魚類を始めとした豊かな生物相を見ることができます。特に、水鳥の飛来地として有名で、留鳥のカイツブリ、カルガモを始め冬にはマガモ、コガモ、ヒシクイ、ハシビロガモなどが多数訪れます。最近オシドリも姿を見せ、年々その数を増しています。



三島池の冬鳥



三島池



三島池の位置

三島池のカモ

マガモは、通常は冬の渡り鳥で、夏にシベリア方面で繁殖します。10月になると冬の渡りが始まり、三島池には10月上旬から下旬にやってきます。昭和32年（1957）三島池でカモが自然繁殖していることが確認されました。その後2年におよぶ山東町立大東中学校科学クラブの研究により、三島池がマガモの自然繁殖の南限地であることが確認され、この池が生物分布上の貴重な場所であることが明らかとなりました。

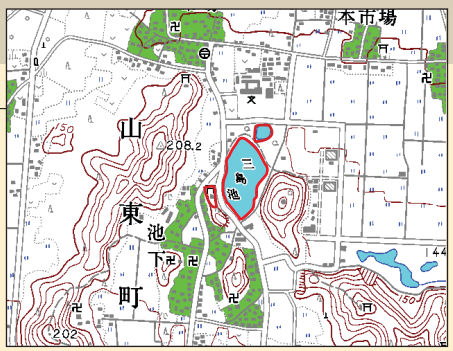
マガモは、例年5月上旬に産卵を始め、毎日1個ずつ卵を産み、全部（10～13個）産み終えると抱卵に入り、約4週間後に孵化します。

関連する文化財

比叡山鳥類繁殖地（大津市）	学習シートNo.112
野田のサギおよびその繁殖地（埼玉県浦和市）	5軒の農家の屋敷林が指定されている。江戸時代から愛護され今日に至っている。大都市近郊の繁殖地として重要

もっと深く知りたい

山東町教育委員会　☎0749-55-2040　坂田郡山東町長岡1206



三島池のカモ及びその池へのアクセス

JR東海道本線　柏原駅下車
北陸自動車道　米原インター

【参考文献】〔水鳥の研究とその背景〕大東中学校　〔おじいちゃんの贈物〕口分田政博

滋賀県教育委員会事務局文化財保護課　平成16年3月